



2022年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社N I T T A N
 代表者名 代表取締役社長 金 原 利 道
 (コード番号 6493 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役執行役員 大野 浩
 (TEL. 0463-82-1311)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年10月29日に公表致しました、2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 38,530	百万円 2,220	百万円 2,240	百万円 1,060	円 銭 36.79
今 回 発 表 予 想 (B)	38,669	1,963	2,106	644	22.39
増 減 額 (B-A)	139	△257	△134	△416	
増 減 率 (%)	0.4	△11.6	△6.0	△39.2	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	34,705	18	375	670	23.33

2. 通期業績予想の修正理由

当社グループの2022年3月期の連結業績は、長期化するコロナ禍に加え、世界的な半導体不足や部品不足に起因する自動車業界全体の生産調整の影響を受けており、原価面でも原材料価格や電力料、物流費の上昇の影響を受けております。10月29日付け通期連結業績予想以降、期末日までの間に、国内では生産調整の影響が長引き、売上高・利益ともに予想を下回る見通しです。一方で海外では、多くの海外連結子会社の期末日が12月31日であることもあり、受注の減少はほぼ織り込めており、円安の影響もあって売上高・利益ともに予想を上回る見通しです。

この結果、前回発表予想数値との比較で売上高は上回るものの、営業利益は257百万円、経常利益は134百万円下回る見通しです。これに加えて、海外連結子会社の利益増に伴い非支配株主に帰属する当期純利益が増加したこと、及び半導体不足等の影響は2023年3月期にも残るという想定のもと今後の業績動向を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し法人税等費用計上額を見直した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想数値を416百万円下回る見通しです。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以 上